序章　災害をめぐる環境思想●秋道智彌　1

第1部
自然の思想……23

1・「空間の履歴」から読みかえる環境思想――「安全神話」の真実●桑子敏雄　24
2・日本の自然暦と環境観●中牧弘允　47
3・概念から実体へ――絵俳書「山の幸」の位置から、予規に説き及ぶ●井田太郎　58
4・近代日本の自然観――記念樹をめぐる思想とその背景●末木文美士・岡本貴久子　83

第2部
生業の思想……117

5・生業の古代中世史と自然観の変遷●井原今朝男　118
6・食と農の環境思想●佐藤洋一郎　155
7・生業と供養思想――資源管理と持続的な利用●湯本貴和　180

第3部

供養の思想 …… 203

8 ❖供養の概念について——南アジアと東アジアの比較 ● 立川武蔵 204
9 ❖反・供養論——動物を「殺す」ことは罪か？ ● 菅豊 225
10 ❖虫送りの生命観——日中の棲み分け共生思想 ● 岡田真美子・中峰空 249
11 ❖入らずの山と鎮守の森——もうひとつの環境思想としての民俗知 ● 小松和彦 274

終章 日本の環境思想が問いかけるもの ● 秋道智彌 295